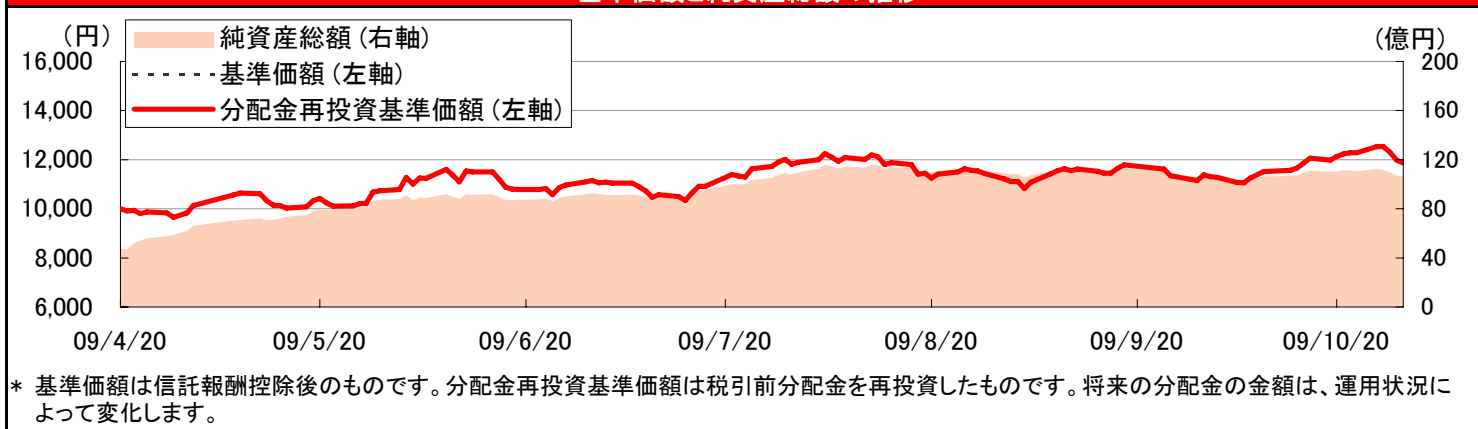


# HSBC 中国クオリティ株式オープン

## 追加型投信/海外/株式

### 基準価額と純資産総額の推移



### 商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2009年4月20日
信託期間	無期限
決算日	原則、1月17日/年1回決算

### 基準価額等 (2009年10月30日現在)

1万口当たり基準価額 (円)	11,865
設定来高値 (2009年10月26日)	12,532
設定来安値 (2009年4月28日)	9,656
純資産総額 (億円)	106.0

\*基準価額は信託報酬控除後のものです。

### 税引前分配金の推移 (1万口当たり)

決算期	分配金 (円)	決算期	分配金 (円)
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
設定来累計			0

\*将来の分配金の金額は、運用状況によって変化します。

### 期間別騰落率(税引前)

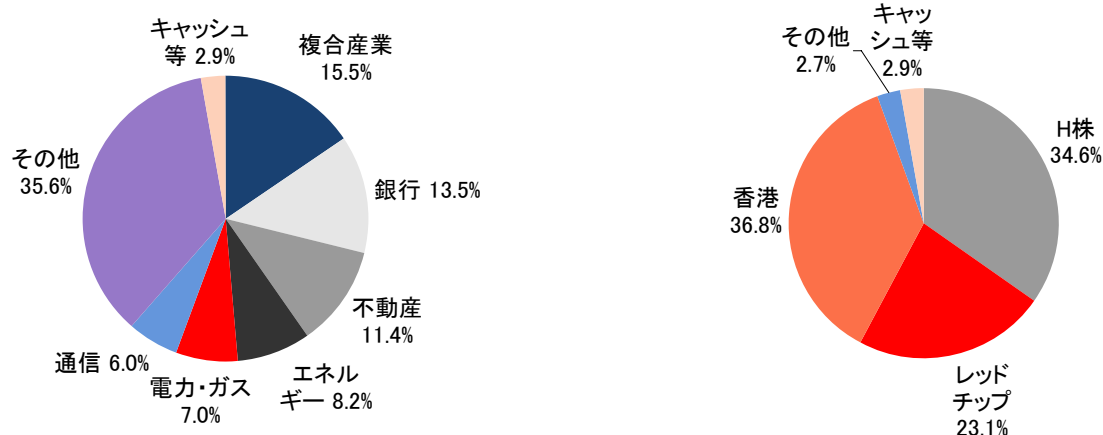
1ヶ月	4.3%	12ヶ月	-
3ヶ月	-0.2%	36ヶ月	-
6ヶ月	20.6%	設定来	18.7%

\*基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。

### 信託財産の構成 (2009年10月30日現在)

HSBC中国クオリティ株式マザーファンド受益証券	100%
キャッシュ等	0%
合計	100%

### 業種別、市場別組入比率 (2009年10月30日現在)



\* マザーファンドの組入比率です。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

### 設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

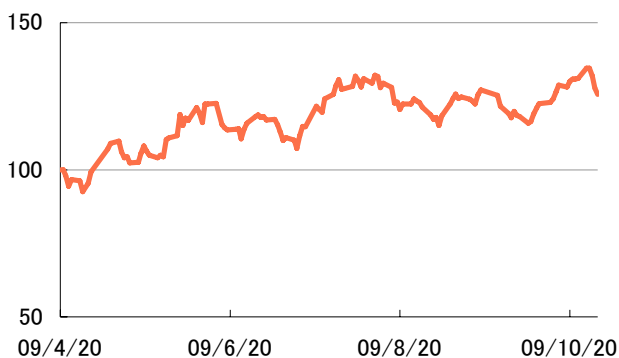
## 組入上位銘柄と対純資産組入比率(2009年10月30日現在)

順位	銘柄名	業種	比率
1	北京控股 (BEIJING ENTERPRISES)	複合産業	3.2%
2	恒安国際 (HENGAN INTERNATIONAL GROUP)	ヘルス・ケア	3.1%
3	中国建設銀行 (CHINA CONSTRUCTION BANK)	銀行	3.0%
4	創維数碼 (SKYWORTH DIGITAL HOLDINGS)	電気機器	3.0%
5	中国人寿保険 (CHINA LIFE INSURANCE)	保険	3.0%
6	中国石油天然気 (PETROCHINA)	エネルギー	3.0%
7	中国工商銀行 (IND&COMM BK OF CHINA)	銀行	2.9%
8	九龍倉 (WHARF HOLDINGS)	複合産業	2.9%
9	利豊 (LI&FUNG)	商社	2.9%
10	神華能源 (CHINA SHENHUA ENERGY)	石油・石炭	2.8%
組入銘柄数			40

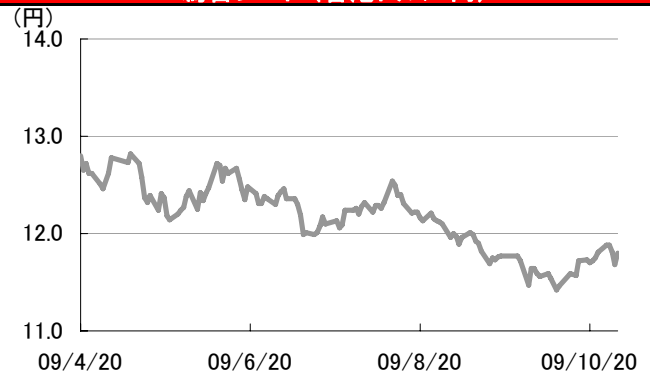
\* マザーファンドの組入比率です。

## &lt;ご参考&gt;参考指標、為替レート(日次)の推移(設定日(2009年4月20日)~2009年10月30日)

## 参考指標(円ベース)\*



## 為替レート(香港ドル/円)

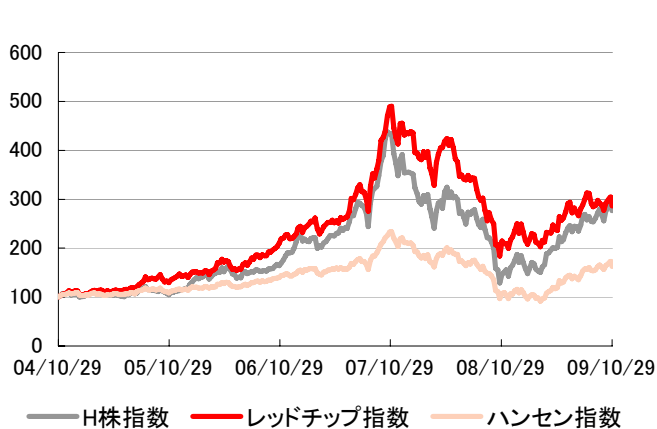


\* MSCIチャイナインデックスを参考指標として使用しております。なお、当該指標は当ファンドのベンチマークではありません。設定日を100として指数化しております。MSCIチャイナインデックスとは、MSCI社(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・インク)が開発、計算した指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI社に帰属します。またMSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

出所:投資信託協会

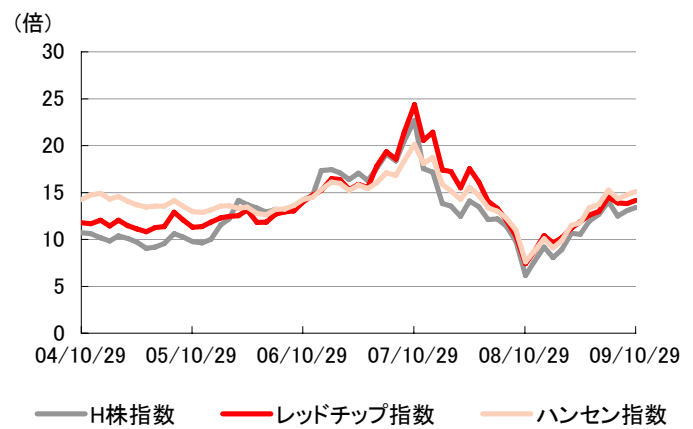
## &lt;ご参考&gt;代表的な株価指数(日次)と予想PER(月次)の推移(2004年10月29日~2009年10月30日)

## 代表的な指数



出所:ブルームバーグ \*2004年10月29日を100として指数化

## 代表的な指数の12ヶ月先予想PER



出所:データストリーム (I/B/E/S Global Aggregates)

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## 10月の中国株式市場

10月の香港市場上場の中国株式は、H株指数、レッドチップ指数、ハンセン指数がそれぞれ前月末比で+4.0%、+0.8%、+1.2%となりました(作成基準日の前営業日現在、現地終値ベース)。当ファンドの基準価額は、一般消費財、サービス及び金融のプラス寄与に加え、香港ドル/円の為替レート(本ファンドの主要投資対象は香港ドル建の株式です)が1.2%の円安となったことなどから、上昇率は+4.3%となりました。

個別銘柄では、創維数碼(Skyworth Digital Holdings)が+27.8%、北京控股(Beijin Enterprises Holdings)が+12.3%、駿威汽車(Denway Motors)が+12.1%、中信銀行(China CITIC Bank)が+11.2%と上昇しました。今月は、合和実業(Hopewell Holdings)、遠洋地産(Sino-Ocean Land Holdings)を外し、雅居樂地産(Agile Property Holdings)を新たに組入れました。

主要経済指標や第3四半期決算の発表を受け、景気回復ペースが一段と加速しているとの見方が広がったことが株価上昇の背景と見られます。30日の深圳証券取引所のベンチャー企業向け市場「創業板」の初日取引で、上場全銘柄が公募価格を大きく上回る高値をつけたことも投資家心理の改善に寄与しました。尚、セクター別では四半期決算の好業績を背景に銀行、保険がアウトパフォームしました。

主要経済指標は以下の通りです。

第3四半期の実質GDP(国内総生産)成長率は、前四半期の前年同期比+7.9%から同+8.9%へと加速、2008年第3四半期以来の大幅な伸び率となりました。1-9月の成長率は前年同期比+7.7%となり、政府目標である通年で+8%超の成長達成(「保八」)が視野に入ってきました。投資が引き続き成長の牽引役であり、1-9月の都市部固定資産投資は前年同期比+33.3%となりました。9月の人民元建新規貸出額は8月の4,104億元(約5.6兆円)を上回る5,167億元(約6.8兆円)となりました。工業生産は、8月の前年同月比+12.3%から9月は同+13.9%と引き続き拡大基調にあり、製造業購買担当者指数(PMI)も8月の54.0から9月は54.3と生産活動が回復傾向にあることが確認されました。9月の消費者物価指数(CPI)は、前年同月比-0.8%、生産者物価指数(PPI)は同-7.0%となり、それぞれ8月の前年同月比-1.2%、同-7.8%からマイナス幅が縮小しています。輸出は、8月の前年同月比-23.4%から同-15.2%へ、輸入も8月の前年同月比-17.0%から同-3.5%へと共に減少率が縮小し、9月の貿易黒字は129億米ドルとなり、年初来の黒字額は1,355億米ドルに達しています。

## 今後の見通し

政府の成長促進策と緩和的な金融政策に支えられ、今年は国内消費及び設備投資の高い伸びが期待できることから、中国株式に対し強気の見通しを維持します。10月の製造業購買担当者指数(PMI)は55.2となり、生産、新規輸出受注をはじめ多くの指数で改善がみられました。新規株式公開(IPO)や売出しによる大規模資金調達が続いたものの、業績改善期待を背景に株価は堅調に推移しました。政府はインフレリスクに対する警戒と予防の必要性に言及しましたが、設備投資の回復は緩やかで消費者物価(生鮮食品を除く)も低位で安定しているため、当面利上げはないと考えています。中国の製造業は価格競争力と品質向上を武器に世界市場でシェアを獲得しており、輸出企業に対するポジティブな見方は強まりました。9月は米国が中国製タイヤにセーフガードを発動し保護主義の強まりが懸念されましたが、その後これが具現化しなかったことは世界貿易にとって明るい材料となり、中国の輸出にも回復の兆しがみられます。

## 設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## 当ファンドの特色

## 中国(香港を含む)の高配当もしくは企業予想収益の安定性が期待される企業の株式を中心に投資します

HSBC 中国クオリティ株式マザーファンド(「マザーファンド」といいます。)への投資を通じ、主として香港市場に上場する株式からクオリティの高い株式(“クオリティ”株式)を厳選し、ポートフォリオを構築します。

- ▶ “クオリティ”株式とは、高配当もしくは企業予想収益の安定性が期待される銘柄群をいいます。
- ▶ “クオリティ”株式は、以下の様な特徴を持っています。

市場支配力

高い自己資本比率、潤沢な手元流動性

安定的に向上している収益率

持続的な高水準の配当への期待

新興国市場の有価証券は一般的に先進国の有価証券と比較して値動きが大きいいため、基準価額の値動きも大きくなる傾向があります。

## 運用はHalbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドが行います

運用委託契約に基づいて、Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッドにマザーファンドの運用指図に関する権限を委託します。

### ▶ マザーファンドの運用プロセス

\* 市場動向等により、ファクターやユニバースの銘柄数、組入銘柄数等を変更する場合があります。

定量分析

ファンダメンタル ポトムアップ分析

投資ユニバース[約300銘柄]  
のスクリーニング

収益性分析  
約100銘柄

将来の配当水準と  
安定性の見通し

ポートフォリオ構築  
約30~40銘柄

- 配当・収益・株価指標  
等でのスクリーニング

- 景気サイクル、業界動向分析  
- 利益水準が不安定、業績予想  
が困難な企業を除外

- 負債比率、配当性向  
- 現在の配当水準の持続可能性、  
減配のリスク

- ファンドマネージャーが組入銘柄  
を決定

各銘柄への資産配分は、概ね等金額投資となることを目指します。

## 原則として為替ヘッジは行いません

外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

為替レートの変動により基準価額は変動します。投資対象資産の通貨に対し円高になった場合、基準価額が下落する要因となります。

## ファミリーファンド方式で運用

ファミリーファンド方式とは受益者の投資資金をベビーファンド(当ファンド)としてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用を行う方式です(ベビーファンドがマザーファンドに投資する際のコストはかかりません。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

## 当ファンドの主なリスク

当ファンドは実質的に外国株式を投資対象としています。当ファンドの基準価額は、実質的な組入株式の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。以下は、当ファンド（マザーファンドを含みます。）に関する投資リスク（基準価額に影響を及ぼすリスク）の一部要約であり、すべてのリスクを網羅するものではありません。当ファンドのリスクの詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

### 1 株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、これが繰り返される傾向にあります。現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。

### 2 信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

### 3 為替変動リスク

外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。

### 4 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。

### 5 カントリーリスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

当ファンドのお申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身でなさいませうようお願い申し上げます。

## 留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料(販売会社固有情報部分を除きます。当該情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)です。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績を示したものであり将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、株式、公社債および投資信託証券等値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)は全て投資家の皆様に帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。取得申込に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面を必ずお受け取りの上、内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	投資顧問会社 Halbis キャピタル・マネジメント(ホンコン)リミテッド
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	委託会社よりマザーファンドの運用指図に関する権限の委託を受けて投資判断、発注を行います。
受託会社 中央三井アセット信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	販売会社*
当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、一部解約金および償還金の支払等を行います。

\*販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求はをご覧ください。  
販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

## 照会先

HSBC投信株式会社

電話番号 03-3548-5690

ホームページ [www.assetmanagement.hsbc.com/jp](http://www.assetmanagement.hsbc.com/jp)

(受付時間は営業日の午前9時~午後5時)

## お申込みに関する要項

## お申込メモ

信託期間	無期限(設定日:平成21年4月20日) なお、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等は、信託を終了させる場合があります。
申込単位	販売会社が個別に定める単位とします。 「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。 申込単位、取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社によって異なります。
申込価額	取得申込日の翌営業日の基準価額
決算および収益分配	年1回の決算時(1月17日、休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。
解約単位	販売会社が個別に定める単位とします。
解約価額	解約申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
解約代金支払日	解約申込受付日から起算して5営業日目以降
課税関係	原則として、収益分配金ならびに、解約時および償還時の譲渡益(法人の場合は異なります。)に対して課税されます。 なお、課税区分は株式投資信託です。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。 (税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。)
申込受付不可日	国内の営業日であっても、香港の証券取引所が休場日の場合には取得および解約の申込受付は行いません。
申込受付時間	午後3時(わが国の金融商品取引所が半日立会の場合には、午前11時)までとします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。ただし、受付時間は販売会社によって異なる場合があります。

## 当ファンドにかかる費用

## 申込時に直接ご負担いただく費用

申込手数料	申込価額に3.15%(税抜3.00%)を上限として、販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額
-------	--

## 換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額	解約申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額
換金手数料	ありません。

## 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	純資産総額に対して年1.869%(税抜年1.78%)を乗じて得た額
その他費用	(1)有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/借入金利息、融資枠設定に要する費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等  (2)投資信託振替制度に係る手数料および費用/法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用/当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用/法定書面の作成、印刷、交付に係る費用/監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等((2)の項目については純資産総額に対し上限年0.2%としてファンドより支払われます。)  (その他費用の上限額については、事後的に発生するものがある為表記できません。)

※費用総額については、事後的に発生するものがあること、また運用状況等により変動するため表記できません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりリスク」、「留意点」、「当ファンドにかかる費用」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

